

1. 管理室

管理室は、庁舎管理や人事などを担当する総務管理グループと、センター運営の総合企画調整や衛生・環境に関する情報の収集・提供などを行う企画情報グループの2グループで構成されている。

1. 1 総務管理グループ

センターの庁舎および財産の管理や経理、人事、福利厚生などに関する業務を行っている。また、施設見学の受け入れや講師派遣の窓口も担当している。

1. 1. 1 施設見学の受け入れおよび講師派遣

平成17年度の施設見学の受け入れおよび講師派遣は表1、2のとおりである。

表1. 施設見学の受け入れ

1. 学校関係			
(1) 福井赤十字看護専門学校	平成17年7月13日	24名	2年生
(2) 県立大学生物資源学部2年生	平成17年8月5日	43名	

表2. 講師派遣

実施日	実施内容
17.5.13	派遣職員：松本 依頼機関：福井大学医学部 講義内容：WHOにおける感染症対策の今日的戦略 対象者：福井大学医学部学生
6.22 6.29	派遣職員：坪内 依頼機関：(財)福井原子力センター 講義内容：エネルギーと環境問題 対象者：(株)福井村田製作所社員
6.28	派遣職員：坪内 依頼機関：信越化学工業(株)武生工場 講義内容：最近の環境問題の動向 対象者：信越化学工業(株)武生工場社員
7.27	派遣職員：松井 依頼機関：福井大学医学部 講義内容：福井県内の小中学生のアレルギー 対象者：福井大学医学部職員
8.10	派遣職員：石畝 依頼機関：(社)ふくい農林水産支援センター 講義内容：食中毒防止と食品衛生管理について 対象者：福井市内の民宿の調理員等
9.6	派遣職員：村岡 依頼機関：(社)日本食品衛生協会 講義内容：第4回HACCP責任者養成基礎研修 対象者：食品営業者
10.1	派遣職員：坪内 依頼機関：環境ふくい推進協議会 講義内容：福井県の環境 対象者：一般県民

11.9	派遣職員：石畝 依頼機関：(社)ふくい農林水産支援センター 講義内容：食中毒防止と食品衛生管理について 対象者：嶺南地域の民宿の調理員等
18.2.14	派遣職員：森 依頼機関：県食品安全・衛生課 講義内容：食品衛生担当者研修会 対象者：食品衛生担当者

1. 2 企画情報グループ

当グループは、大気汚染常時監視事業、環境情報総合処理システム事業、保健衛生情報関連業務などを行っている。また、所内で実施する調査研究などに対する総合的な企画調整や機関・研究課題評価委員会および疫学倫理審査委員会の運営などを行うとともに、市町村や健康福祉センターなど関係機関の保健衛生および環境保全担当職員に対する技術研修・指導の企画、小中学校などからの要請による環境教育支援のための環境教室開催や職員派遣などについての調整を行っている。平成17年度の業務内容を表3に示す。

表3. 業務内容

1. 調査研究などの企画・調整
(1) 研究評価委員会の運営
(2) 疫学倫理審査委員会の運営
(3) 合同研究発表会の運営
2. 調査研究
(1) 大気汚染濃度分布の解析に関する研究
3. 研修・指導事業
(1) 保健衛生および環境保全に関する研修会の実施
(2) 福井大学医学部環境保健学実習
(3) インターンシップ研修制度への参加
(4) 民間企業担当者の専門技術研修の実施
4. 普及啓発事業
(1) 環境教育の運営
(2) 学習会への講師派遣
(3) 環境保全関係イベントへの出展
5. テレメータ常時監視事業
(1) 大気汚染状況の監視
6. 環境情報総合処理システム事業
(1) ホームページ「みどりネット」による環境情報の提供
7. 感染症発生動向調査事業
(1) ホームページ「福井県感染症情報」による感染症情報の提供

1. 2. 1 調査研究などの企画・調整

- (1) 機関・研究課題評価委員会の運営

当センターが行う事業全般および調査研究について、所長、研究企画幹、各部長、各グループリーダーなど 18 名からなる内部評価委員会（企画運営会議メンバー）および学識経験者、健康福祉センター所長、医師など外部の委員 7 名で構成する外部評価委員会を開催し、県民生活や社会への貢献などの観点から、より効果的・効率的に推進できるよう評価を行った。なお、外部評価委員会には本庁関係各課からオブザーバーとしての参加協力を得た。平成 17 年度の会議の開催状況は表 4 のとおりである。なお、外部評価委員会提出研究課題名および外部評価委員名（研究評価、機関評価）は I 運営概要の 9. 研究課題評価に記載した。

(2) 疫学倫理審査委員会の運営

当センターで実施する疫学調査研究については、学識経験者、医師、弁護士など外部の委員 7 名で構成する疫学倫理審査委員会に書面にて疫学的・科学的観点からの審査の評価を受けた。審査委員会の活動状況は表 5 のとおりである。なお、疫学倫理審査委員会提出研究課題名および疫学倫理審査委員名は I 運営概要の 10. 疫学倫理審査委員会に記載した。

(3) 合同研究発表会の運営

当センター、原子力環境監視センターおよび食肉検査所合同の研究発表会を平成 18 年 2 月 13 日（月）に実施した。発表演題 12 題のうち、当センターから 9 題について発表した。（発表演題は運営概要 11.3 を参照）

表 4. 評価委員会開催状況

開催日	委員会および内容
17. 6. 29 ～ 30	研究課題内部評価委員会の開催 新規研究課題（2 題）、継続研究課題（5 題）終了研究課題（11 題）についての評価
7. 29	研究課題内部評価委員会報告書の作成
8. 26	機関・研究課題外部評価委員会の開催 機関および研究課題（新規 2 課題、継続 4 課題、終了 9 課題）についての評価
10. 5	機関・研究課題外部評価委員会報告書の作成

表 5. 疫学倫理審査委員会の活動状況

期 日	委員会および内容
17. 11. 29	疫学倫理審査委員会に書面にて審査依頼 ・新規研究課題（1 題）、中止研究課題（1 題） についての審査
18. 1. 10	疫学倫理審査委員会報告書の作成

1. 2. 2 調査研究

平成 17 年度は、次の調査研究を実施した。

1. 大気汚染の濃度分布の解析に関する研究
ー日本における光化学オキシダント濃度等の挙動
説明ー（国立環境研究所と地方環境研究所との
C 型共同研究）

（詳細についてはホームページ参照：

<http://www.nies.go.jp/pmdep/ctype/>）

1. 2. 3 研修・指導事業

(1) 保健衛生および環境保全に関する技術研修会の実施

保健衛生および環境保全に関し、現在問題となっている技術的な事象について、県健康福祉センターおよび市町村の担当職員を対象に研修会を実施した。

平成 17 年度の実施状況は表 6 のとおりである。

(2) 福井大学医学部の環境保健実習

福井大学医学部環境保健学講座実習の一環として、「地域の保健衛生および環境保全に対する衛生環境研究センターの役割と医師としてどう関わっていくか」をテーマに、毎年学生を受け入れている。

今年度は保健衛生分野と環境保全分野でそれぞれ 6 名の学生を受け入れた。研修内容は下記の通り。

・期 間：9 日間（4 月 15 日～6 月 24 日）

・内 容：

保健衛生分野（病原微生物、食品衛生、環境衛生など）に関する講義と実習。

環境保全分野（大気汚染、水質環境、常時監視など）に関する講義と実習。

(3) インターンシップ研修制度への参加

大学生が在学中に就業体験をするインターンシップ研修制度（福井県経営者協会主催）に参加し、学生の受入を行った。参加大学名、研修内容は下記の通り。

・参加大学名：関西大学、東京理科大学

奈良女子大学、福井工業高等専門学校

・期 間：5 日間（8 月 1 日～5 日）

・研修内容：

環境保全分野（事業全般、有害大気汚染物質の分析、河川・湖沼の調査など）

環境科学分野（事業全般、環境ホルモン、ダイオキシン類などの紹介、農薬の分析など）

・研修生数：6 名

表 6. 保健衛生および環境保全に関する担当者技術研修会の実施状況

実施日	研修内容など	参加者	担当部
17. 5. 31	環境保全・環境衛生に係る基礎技術研修会 ・水質異常時における対応について ・嗅覚測定について	28 名	生活科学部 環境保全部

	・温泉水の成分について ・環境情報提供システム「みどりネット」の内容と利用方法について		企画情報 G
9.27	感染症基礎研修会 ・患者情報から見た県内流行感染症の特徴 ・病原体検査結果からみた県内流行病原体 ・インフルエンザについて ・不明集団感染症について ・腸管出血性大腸菌感染症について ・医療機関で検出されるサルモネラの薬剤耐性について ・PCR検査法の基礎	25名	保健科学 部 企画情報 G
9.30	食品衛生基礎技術研修会 ・食中毒の検査法の概要、検体の採取・搬送時の留意点 ・食中毒事例と検査法、考え方（細菌、ウイルス） ・食品収去検査に係る注意事項（理化学） ・食品衛生検査とGLP法について	6名	保健科学 部 生活科学 部
18.1.13 ～19 の5 日間	細菌検査基礎技術研修 ・経口感染症、食中毒菌の分離・同定検査方法	5名	保健科学 部
1.20	環境衛生技術研修会 演題：環境科学物質のリスクについて 講師：福井大学医学部国際社会医学講座環境保健学領域 日下 幸則 教授	52名	環境科学 部
2.24	保健情報関連研修会 ・情報処理について ・課題を解決するためのデータの活用について	18名	企画情報 G

1. 2. 4 普及啓発事業

小中学校等における環境教育を支援するため、要請により当センターにおいて環境教育を実施した。

(1) 環境教育の運営

①環境教育実施状況（表7）

表7. 環境教育実施状況

実施日	学校名	学年	人数
17. 6.13	鶉小学校	5年生	44名
8.23	大関小学校	6年生	3名
10.20	日之出小学校	5年生	62名
11. 2	明道中学校	1年生	9名

②実施内容

- ・大気関係状況説明、質問回答（大気汚染、地球温暖化、酸性雨、オゾン層）
- ・大気汚染の環境簡易調査実習（NO、NO₂パックテスト）
- ・水質関係状況説明、質問回答（水質汚濁、水生生物）
- ・水質汚濁の環境簡易調査実習（pH、CODパックテスト、透視度）
- ・パネル、ビデオによる環境学習
- ・センター施設紹介、見学（実験室、大気テレメータ室、環境情報コーナー）
- ・みどりネットおよび関連ホームページ等イン

ターネットによる環境情報の収集

1. 2. 5 テレメータ常時監視事業

(1) 大気汚染状況の監視

①大気汚染測定局における測定

福井県大気汚染監視テレメータシステムにより県内の大気汚染状況の常時監視を次のとおり行った（大気汚染防止法第22条に基づく法定受託事務）。

・測定期間：平成17年4月1日～平成18年3月31日

・測定地点：三国局ほか計44局（みどり号を除く。）

（種類別内訳）

一般環境大気測定局（一般局）

県管理18局 市町管理18局

自動車排出ガス測定局（自排局）

県管理3局 市町管理1局

特殊気象測定局（気象局）

県管理1局

発生源監視測定局（発生源局）

企業管理3局

・測定項目：

二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント、炭化水素、一酸化炭素、風向・風速、温度・湿度、自動車走行台数、日射量・放射収支量、燃料使用量、排ガス温度、排ガス中硫黄酸化物・窒素酸化物・酸素濃度、発電量

・測定結果：

環境基準の定められている測定項目について県管理の測定局における測定結果は次のとおりであった。

（詳細についてはホームページ参照：

<http://www.erc.pref.fukui.jp/tm/>）

1. 二酸化硫黄（SO₂）：一般局7局で測定

全局、環境基準を達成していた。

2. 浮遊粒子状物質（SPM）：一般局18局、自排局3局で測定

短期的評価では環境基準を超過した測定局があったが、長期的評価では全局、環境基準を達成していた。

3. 二酸化窒素（NO₂）：一般局18局、自排局3局で測定

全局、環境基準を達成していた。

4. 光化学オキシダント（OX）：一般局18局で測定

全局で環境基準を超える値が測定されたが光化学スモッグ注意報発令（大気汚染防止法第23条に定める緊急時）には至らなかった。

5. 一酸化炭素（CO）：自排局3局で測定

全局、環境基準を達成していた。

②大気環境測定車「みどり号」による調査

平成17年度は行政依頼調査を4地点で実施した。

・調査地点と期間：

1. 福井市白方町

平成 17 年 6 月 14 日 ～ 7 月 12 日

行政依頼調査

2. 清水町小羽

平成 17 年 7 月 14 日 ～ 8 月 12 日

行政依頼調査

3. 美山町朝谷島

平成 17 年 9 月 6 日 ～ 9 月 30 日

行政依頼調査

4. 勝山市昭和町

平成 17 年 10 月 18 日 ～ 11 月 14 日

行政依頼調査

5. あわら市権世

(1) 平成 17 年 5 月 31 日 ～ 6 月 7 日

行政依頼調査

(2) 平成 17 年 8 月 23 日 ～ 8 月 30 日

〃

(3) 平成 17 年 11 月 15 日 ～ 11 月 24 日

〃

(4) 平成 18 年 2 月 1 日 ～ 2 月 8 日

〃

- ・測定項目：二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、窒素酸化物、光化学オキシダント、炭化水素、一酸化炭素、風向・風速、温度・湿度

5 地点でオキシダントの環境基準値（0.06ppm）を超過したが、注意報発令基準値（0.120ppm）には至らなかった。その他の常時監視項目は環境基準値を下回っていた。（表 8）

1. 2. 6 環境情報総合処理システム事業

ーホームページ「みどりネット」による環境情報の提供ー

環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、県民等が環境情報を有効に活用できるよう、ホームページ登録情報の追加更新、行事案内等の掲載、システムの機能強化を行った。

（「みどりネット」：

<http://www.erc.pref.fukui.jp/>）

(1) ホームページ登録情報の追加更新

文書情報・データベースの追加

- ・平成 17 年度海水浴場の水質調査結果について
- ・16 年度 PRTR 集計結果
- ・アスベスト関係情報
- ・環境ふくい推進協議会情報紙「みんなのかんきょう」（平成 17 年度発行分）
- ・福井県衛生環境研究センター年報（2003 年度）
- ・福井県の自動車交通騒音の常時監視結果
- ・平成 16 年度大気・水質の常時監視結果と公害苦情の概要について

(2) 行事案内等の掲載

- ・温暖化ストップ親子大作戦の募集案内
- ・「エコオフィス宣言」事業所一覧掲載
- ・平成 17 年度ふくい環境力向上活動交流会の開催
- ・「ISO14001 基礎講座」の開催
- ・「ふくい環境シンポジウム」の開催
- ・環境ふくい推進協議会
- ・「2005 環境活動リーダー育成講座」の参加者募集

1. 2. 7 感染症発生動向調査事業

感染症発生動向調査事業は各種感染症の流行状況を早期かつ的確に把握し、得られた情報を速やかに還元して、迅速な予防対策による各種感染症の蔓延防止を図る目的で厚生労働省により 1981 年から開始され、本県においても結核・感染症サーベイランス事業としてスタートした。いくつかの変遷を経て平成 11 年「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行、平成 15 年 11 月一部改正に伴い、現在の体制で実施。平成 16 年 1 月からは本庁健康増進課から業務を移行し、患者および病原体情報の一元的収集解析・提供を当センターで実施している。

患者情報対象疾患は 1 類感染症 7 疾患、2 類感染症 6 疾患、3 類感染症 1 疾患、4 類感染症 30 疾患（1～4 類感染症は、発生した全件数を把握）および 5 類感染症 42 疾患。（全数対象疾患は 14 疾患、定点把握対象疾患 28 疾患）

定点把握対象疾患の把握については、県内の医療機関 37 定点に協力をいただいている。

毎週県内 6 健康福祉センターを経由して報告される患者情報を解析し、コメント、グラフ等の作成および注目疾患の流行が一目でわかるようにマップで示すなど病原体情報と一元化し、感染症の予防と適切な医療の提供に有用な情報となるよう努めている。

解析結果については「福井県感染症発生動向調査速報」を作成し、一般県民、定点医療機関、医師会、教育委員会、市町村、健康福祉センター、マスコミ等県内の関係機関に還元している。還元方法としては、電子メール、ファックス、ホームページ「福井県感染症情報」等を用いている。

ホームページの構成は、・トピックス・季節情報、・緊急情報（感染症危機管理）、・発生動向調査速報、・記者発表の記録、・感染症発生動向事業概要、・疾患情報、・感染症関連情報（相談・予防接種・統計）、・患者発生状況（週報対象）、・一週間の概要、・健康福祉センター別の状況、・各感染症の状況、・患者発生状況（月報対象）、・一週間の概要、・健康福祉センター別の状況、・各感染症の状況、・発生数など資料一覧、・病原体検出情報、・子育て支援感染症情報、・関連リンク集となっている。

（「福井県感染症情報」：

表 8 大気環境測定車「みどり号」による調査結果

調査項目 調査地点		調 査 期 間	最 多 風 向	風 速 (m/s)	気 温 (℃)	湿 度 (%)	二酸化 いおう	浮遊 粒子状 物質 (mg/m3)	一酸化 窒素 (ppm)	二酸化 窒素 (ppm)	オキシ ダント (ppm)	非メタン 炭化水素 (ppmC)	メタン (ppmC)	全炭化水素 (ppmC)	一酸化 炭素 (ppm)
あわらし市権世 (権世集落改善センター 敷地内)		平成17年 5月31日～ 6月7日	NE	2.7	28.5	95	0.011	0.060	0.023	0.032	0.083	0.53	1.90	2.37	0.3
				1.0	18.2	73	0.003	0.025	0.002	0.005	0.039	0.17	1.84	2.00	0.2
福井市白方町 (白方町民会館隣接の広場)		平成17年 6月14日～ 7月12日	SW	0.0	8.7	15	0.001	0.000	0.000	0.001	0.009	0.10	1.77	1.89	0.1
				4.1	31.9	94	0.012	0.111	0.006	0.035	0.090	0.38	3.26	3.42	0.5
清水町小羽 (清水町役場 駐車場)		平成17年 7月14日～ 8月12日	WSW	0.8	23.5	75	0.004	0.028	0.001	0.004	0.038	0.14	1.92	2.06	0.2
				0.0	16.3	39	0.001	0.000	0.000	0.000	0.004	0.06	1.69	1.82	0.1
あわらし市権世 (権世集落改善センター 敷地内)		平成17年 8月23日～ 8月30日	NNE	2.4	31.7	89	0.006	0.075	0.021	0.019	0.058	-	-	-	1.1
				0.8	23.2	73	0.002	0.019	0.002	0.005	0.024	-	-	-	0.1
美山町朝谷島 (美山中学校 敷地内)		平成17年 9月6日～ 9月30日	S	0.0	16.7	41	0.001	0.000	0.000	0.001	0.008	-	-	-	0.0
				3.9	31.6	91	0.009	0.065	0.028	0.020	0.065	0.38	1.86	2.17	0.4
勝山市昭和1丁目 (勤労青少年体育センター駐車場)		平成17年 10月18日～ 11月14日	NE	0.9	22.2	72	0.002	0.018	0.002	0.004	0.022	0.12	1.79	1.91	0.2
				0.0	13.5	33	0.001	0.000	0.000	0.000	0.002	0.05	1.69	1.78	0.1
あわらし市権世 (権世集落改善センター 敷地内)		平成17年 11月15日～ 11月24日	NNE	3.6	22.3	94	0.014	0.242	0.065	0.042	0.069	1.00	2.13	2.77	0.8
				0.5	12.3	74	0.003	0.018	0.002	0.006	0.030	0.13	1.85	1.98	0.2
あわらし市権世 (権世集落改善センター 敷地内)		平成18年 2月1日～ 2月8日	NNE	0.0	3.7	18	0.001	0.000	0.000	0.000	0.003	0.06	1.66	1.78	0.1
				4.3	13.1	92	0.003	0.040	0.089	0.028	0.041	0.40	1.88	2.02	0.5
				1.1	6.8	77	0.001	0.009	0.005	0.008	0.022	0.09	1.85	1.94	0.2
				0.0	-0.4	33	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	0.05	1.81	1.88	0.1
				6.7	12.2	92	0.060	0.037	0.067	0.047	0.049	0.28	1.99	2.18	0.5
				1.6	2.0	76	0.004	0.008	0.004	0.010	0.032	0.13	1.83	1.96	0.2
				0.0	-4.0	44	0.001	0.000	0.000	0.001	0.003	0.08	1.75	1.83	0.1